

2月は世界理解月間です
THE WEEKLY REPORT

RI第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 テーマ

相互の理解と
地域との つながり

2011-2012 年度 RI会長
カルヤン・パネルジー

次回例会予定 2月29日 移動例会(2月26日 IM)
3月7日 外部卓話

VOL. 49 No.28(通算No. 2309)

2012年2月22日(水)例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸 報 告
幹事報告
会長挨拶
会員卓話

高須 薫会員



写真提供:倉持孝幸様 常総市羽生町在住

2011-2012年度

会長 大塚 令 昌

幹事 齋藤 広 巳

創立 1963年9月25日

《例 会 場 ・ 例 会 日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事 務 所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875 Fax.0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

2月は世界理解月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.49 No.27(No.2308) 2月15日(水)曇り (司会 染谷正美委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆会員卓話 木幡 浩会員

ビ ジ タ ー

筑波銀行 総合企画部経済調査室長 熊坂敏彦様

幹 事 報 告 齋藤広巳幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

地区大会のお知らせ

4月7日(土)・8日(日) 結城市民文化センター アクロス

4月8日に白井石油さん前より、7時15分にバスが出発します。

会 長 挨 拶 大塚令昌会長



1月に続き、今月も外部の方の卓話を2週続いて戴きましたが、本日は筑波銀行総合企画部経済調査 熊坂室長に巾広いお話を戴く事になりました。後程宜しくお願い致します。

また先週三名の地区役員の方の委嘱の報告を致しましたが、三名共欠席でしたので地区委員会が12日に迫っておりましたので、各自にお届け致しましたので例会では報告のみと致しますのでご了承の程願申し上げます。

後日地区委員会のご報告があるかと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

そして報告事項と致しまして、前にお話致しましたGSEの受け入れについて変更がありますのでご報告申し上げます。先ず3月28日、当クラブ昼頃到着致し、お話致しましたのが筑波山神社と申し上げましたが、3分区において筑波山神社は見学済となりましたので、当クラブでは坂野家及びワープステーション見学に変更、そして板橋不動院、見学時間によっては私宅一言主神社見学と変更させて戴きます。その後移動例会ウエルカムパーティとなりますので、ご了承の程願申し上げます。尚、移動例会会場については後日出欠をとりお知らせ致します。 以上です。

会 員 卓 話 木幡 浩会員



筑波銀行 総合企画部経済調査室長 熊坂敏彦の紹介を致します。

昭和50年に日本長期信用銀行(現 新生銀行)に入行。約28年間、融資部門、産業調査、リテール本部、関連カード会社社長などを経験し、その後、生命保険会社、証券会社の役員を歴任、平成21年6月に関東つくば銀行(現筑波銀行)に入行。現在、筑波銀行の総合企画部・経済調査室長として、地域経済・地域産業の調査業務を担当しています。

また、専修大学商学部の非常勤講師を兼任し(本年で6年目)、地域産業論を担当しています。

最近の主な調査テーマとしては、地域ブランド、農業、新エネルギー産業、ニューツーリズム(観光産業)、つくば発ベンチャー企業、県内商店街の活性化事例、地場産業(石材産業調査、笠間焼産地、結城紬

2月は世界理解月間です

THE WEEKLY REPORT

産地)、県内企業の中国進出などがあります。

茨城・栃木における地域ブランド向上に向けた取組み

筑波銀行 総合企画部経済調査室長 熊坂敏彦



1. 地域ブランドとは

・地域ブランドとは:「ある特定の特産品等を他の地域の特産品等と識別化または差別化するための標章」

・地域ブランドの地域活性化効果

①付加価値、②市場拡大、③高値、④地域イメージ、⑤地域外からヒト・モノ・カネ、⑥農業・地場産業振興、⑦観光・商業・サービス業の活性化、⑧地域の所得・雇用

2. 北関東3県における地域ブランド力の低さとその要因

・茨城・栃木両県の地域ブランド力の低さの要因:①東京市場への近さ、②観光地、③地元テレビ局、④自己PR不足

・茨城・栃木両県の地域ブランド力向上戦略

3. 地域ブランド構築成功事例にみる基本条件

・成功事例:宇都宮餃子、小布施、湯布院、黒川温泉、上勝町「葉っぱビジネス」

・基本条件:①危機感の共有、②革新者の存在、③地域の人達の深い思い、④官民一体化、⑤マスメディアの活用

4. 茨城における地域ブランド化への取組み事例

- ・江戸崎かぼちゃ
- ・鉾田メロン
- ・奥久慈しゃも
- ・常陸牛・常陸秋そば
- ・笠間の栗(笠間市のブランド化への取組み)
- ・つくばチョウザメ(「チョウザメ産業創出プロジェクト」)

5. 栃木における地域ブランド化への取組み

- ・宇都宮餃子
- ・とちおとめ
- ・宇都宮市のブランド化への取組み

栃木県酒造組合・とちぎ銘酒館「酒々楽(ささら)」

(3)茨城・栃木両県の地域ブランド力向上戦略



茨城県
 ・「総合計画」に「イメージアッププロジェクト」
 ・インターネット活用・メディアへの情報発信、サポーターづくり等
 ・茨城県知事公室・広報戦略室設置
 ・(ホシダの広報のプロ・塩原信夫氏)
 ・日立市、鹿野市、鉾田市などのブランド推進協議会

栃木県
 ・「フード・バレーとちぎ推進協議会」
 ・とちぎ「食」の回廊(そば、いちご、かんぴょう、餃子、あやめ等)
 ・「とちぎブランド推進本部」
 ・「とちぎブランド推進本部」
 ・「とちぎブランド推進本部」

(4)有名な「地域ブランド」(名産品)

日経リサーチ「地域ブランド戦略サーベイ」(2010年)

地域ブランドランキング上位10位(名産品編)

順位	地域名
1	讃岐うどん
2	博多幸子明太子
3	紀州南高梅
4	夕張メロン
5	白い恋人
6	丹波黒大豆
7	京都ハッ橋
8	山形さくらんぼ
9	長崎カステラ
10	大間まぐろ

2. 北関東3県の「地域ブランド力」の低さ

日経リサーチ「地域ブランド戦略サーベイ」2010年

上位10位	地域名	下位10位	地域名
1	北海道	38	徳島県
2	京都府	39	埼玉県
3	沖縄県	40	岐阜県
4	東京都	41	栃木県
5	神奈川県	42	福井県
6	大阪府	43	鳥取県
7	福岡県	44	佐賀県
8	兵庫県	45	茨城県
9	長崎県	46	島根県
10	鹿児島県	47	群馬県

2月は世界理解月間です THE WEEKLY REPORT

ブランド総合研究所「地域ブランド調査2011」

上位10位	地域名	魅力度	下位10位	地域名	魅力度
1	北海道	70.7	38	滋賀県	11.8
2	京都府	53.4	39	山口県	11.6
3	沖縄県	50.3	40	福井県	10.9
4	東京都	40.3	41	鳥取県	10.8
5	奈良県	34.0	42	栃木県	10.3
6	神奈川県	30.6	43	徳島県	10.1
7	大阪府	29.4	44	群馬県	9.8
8	長野県	28.9	45	埼玉県	9.6
9	兵庫県	27.0	46	佐賀県	7.5
10	福岡県	26.7	47	茨城県	7.2

銚田メロン



(1)概要
 ・生産地:茨城県銚田市
 ・出荷体制
 ①茨城旭村JAメロン部会(284名、230ha)
 ②かしまなだJAメロン部会(278名、190ha)
 ③任意組合・個人
 ・出荷量:年間1万5千t(アンデスメロン77%、クインシー20%、その他3%)
 (2)歴史
 ・昭和38年数人の農家がサツマイモ、落花生、麦等の代わりにプリンスメロンを試作
 ・昭和40年代町全体に広がる
 ・昭和53年アンデスメロンの導入

奥久慈しゃもを提供するお店



つばチョウザメ 「チョウザメ産業創出プロジェクト」



・3十年前から存在する「古代魚」(鮫ではない、淡水魚、キャビア)
 ・農家の収入安定化を目的に2010年プロジェクト発足(1口5万円、50名、酒井孝家代表)、現在2農家で1250匹。
 ・産7年・キャビア、産4年・魚肉をつくば市の特産品にする(市は地域産業振興取得、PR等支援)
 ・10a~1000a区画内で、7年目から農家収入600万円超を目指す。
 ・>>>区内での消費:①学習用(ハムのお肉、塩鮫、塩土産品(西京焼魚、つばの鮫いし)、②ファンタ料理店(ピストロバニス)、③日本料理「ひろせ」、④フジケン(次飯(バルブメーカー))

宇都宮餃子



(1)歴史
 ・戦後、昭和20年代後半からの餃子ブーム:中国東北部からの引揚者の流れ、第14師団兵士の需要、小麦・白菜・ニラ・豚肉の産地
 ・平成2年、宇都宮市の職員が「餃子消費量日本一」を知って餃子によるまちおこしを提案
 ・市役所の定員補正(当時観光課係長)、「宇都宮みんみん」の伊藤信夫社長等が中心となり宇都宮餃子会を設立
 ・平成5年、「餃子会」の活動をリードする宮の山田邦子の司会の審判「おまかせ山田審査」で賞状上げられ、ブレイク、全国的に著名になる
 (2)「宇都宮餃子」のブランド化戦略
 ・知名度向上に伴い、標準化する権利による販路拡大の目的に、組合員の権利を守るために「団体商標取得」を目指した
 ・平成13年、任意団体「宇都宮餃子会」を協同組合化、「加入基準および商標使用基準規則」を制定。
 ・平成14年2月、「宇都宮餃子」の商標登録

とちおとめ



(1)概要
 ・栃木県産1t以上の生産量、販売額とも全国1位、本県が開発した「とちおとめ」は全国いちご作付面積の3割(群馬、茨城、福島、宮城、千葉等)
 ・平成2年、栃木県農業試験場にて「女峰」の後継品種として交配により誕生。平成8年「とちおとめ」品種登録
 ・ブランド化、生産量向上のため県とJAと生産者一斉
 ・栃木県農業試験場「いちご研究所」(平成20年10月)新品种、新技術開発、調査、研修、情報発信
 ・栽培地域:真岡(最大)、二宮、鹿沼、小山等
 ・栽培者数:2200
 ・栽培面積:950ha
 ・出荷量:約27万t(内系統90%)
 ・生産部会数:17

(補論)茨城県酒造組合 茨城県にも51の蔵元・銘酒があり



出席報告 (登坂 寛委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
57名	37名	20名	0名	1名	66.67%

ニコニコボックス 鈴木勝久委員長

入金計 円12,000 累計 円1,528,000

熊坂室長、よろしくお願ひします。 大塚会員

本日の卓話、よろしくお願ひ致します。 木幡会員

先週欠席しました。地区研修セミナー参加してきました。大変です。(広報・雑誌委員長) 松崎会員
 例会欠席しました。 染谷(昭)・石塚(利)・熊谷 各会員

会報委員会

青木清人委員長

松崎隆司副委員長

木幡 浩委員